

安心・安全・快適な超省エネルギー住宅を適正価格でご提案します。



Nakanishi Press

2011年10月号

食欲の秋、運動の秋、

夏の疲れとは早くさよならしたいですね。

自然を取り込むパッシブデザインで、いつも快適な我が家にしよう

専務 川崎



パッシブ (passive) とは、「消極的な」「受身の」という意味の言葉で、アクティブ (active) = 「積極的な」の反対語として使われます。建物の設計では、「室内に自然を取り込む」、つまり太陽の光や熱・風・水・音・香・風景などを上手に室内に取り入れる手法を、パッシブデザインと呼んでいます。

パッシブデザインでは、まず最初に「閉じる」と「開く」を考えます。一番大切な事は、「閉じる」時の十分な建物の基本性能です。静岡県は温暖な土地柄ですが、実は年間の冷暖房負荷は、北海道の約 1.2 倍、沖縄の約 1.6 倍という、日本で一番冷暖房負荷の大きな地域ですので、耐震性能はもとより、断熱・遮熱・換気・通気など建物の基本性能を出来るだけ高くしておく事が、パッシブデザインの家作りでとても重要となります。

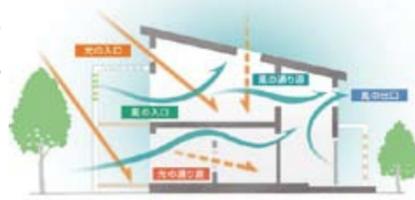
真冬、真夏はきちんと閉じ、その上で春や秋など外部の

温熱環境が良い時期には、光・熱・風などを室内に取り入れられる様に、安全で効率良く「開く」事が出来るデザインにします。

具体的には、実施設計時には、CASBEE(キャスビー)や「自立循環型住宅の設計ガイド」を基に、Q 値、μ 値、防露計算、日射や通風のシミュレーションなどを行います。

そして入居後にもデータロガーやサーモカメラなどでの温湿度測定を行い、シミュレーションと比較し、実測値にずれがある場合には是正をして行く事で、本当の意味での快適で省エネな「いい家」が完成すると信じ、日々工務店を営んでおります。

真冬、真夏はきちんと閉じ、その上で春や秋など外部の



設計部より

設計部 小林



建築に携わって最近思うこと。

つつい日々の業務に追われ、図面を書くこと、ディテールを詰めることなどや、建築技術に没頭してしまいがち。住宅は基本芸術作品ではなく、風雨からのシェルターであり、社会生活を営むための場所や空間だと思いませんので、技術をないがしろにすることは絶対出来ません。思想や哲学的要素も必要ですが、技術無しもしくは技術者不在建築が一番最悪だと感じます。

ただもう一方で、住宅は単なる不動産ではなく、100人100通りの形になるものです。

人(施主)のスタイル、使い勝手、手触り、を常に意識し業界の常識を基準としないようにしたいですし、そうあるべきだと思います。

これからも色々な意見も聞きながら、もっと胸躍るような建築を作りたいです。

OB宅訪問日記

お客様担当 齊藤



台風一過の秋晴れの中、裾野市N様宅へ行ってきました。来年で竣工13年を迎えるN邸もそろそろ、外装のお手入れ直しが必要の時期です。一緒に外回りをグルリと回らせてもらい、今回は屋根の塗替え工事がメインの外装リフォームとなりました。

一緒に歩いて気がつくのがお庭の手入れが大変に行き届いていない事です。外柵の木製ラチスも、毎年塗替えているお陰で一部補修が必要なくらいと我が家も真似をしないといけません。

天気の良い日には、大きめのオーニングでリビングに入る日差しを調整し節電に協力するのもN様らしくて良いですね。

引き続き、DIYをよろしく願います。



工事中のお宅 (基礎、構造、断熱などが見られます)

床下&小屋裏大収納空間の家



富士宮市 W様邸

新築以上に素敵にリフォーム



富士宮市 E様邸

2階リビングが楽しい家



富士宮市 Y様邸

キッチンに家族が集まる家



沼津市 I様邸

お客様担当 後藤



完成見学会のご案内

開放感のある2面道路の家



沼津市 S様邸

趣味空間と吹抜けの家



三島市 M様邸

このお宅のビューポイントは、リビング吹抜けと北米製木製サッシのアレンジです。窓廻りは内部にケーシングや木製コーナブロック、外部にはアルミ鋳物のフラワーボックスをデザインしています。今回採用した北米製木製サッシは、遮熱LowEペアガラスを標準装備し、国内最高基準の28%以上断熱性能に優れたエコで省エネなサッシです。当社では、国産高級サッシと同程度で輸入出来ますのでぜひご覧ください。

■10月15日(土)、16日(日) 場所:三島市初音台

現場から

工事部 川村



今、自分がやっている現場は改築工事です。いわば、構造材(骨組み)と屋根、基礎以外は全てやりかえるというものです。内部、外部のぼろぼろは解体業者にまかせることなく全て自分達の手で行いました。2x4では家一軒で使う釘は、約10万本だといわれています。この現場では、半分の5万本はバールで釘を抜いたと思う(多分...) もちろんバールを使う作業は手作業になる。普段釘打ちは、エアーコンプレッサー動力による釘打ち機でバンバン打っているが釘を抜くことなんて考えていない。釘抜きも電動工具がでてくるとうれしいな、まー今は、そんな工事も増改築部分を終え、新築と同じ状態になっています。

今月のイチおし Goods

北欧の町並みに映える素敵な木製サッシが、日本向けに使いやすくリニューアルしました。北欧ではポピュラーな回転窓が標準で、クルッと回転すると室内から簡単に掃除が出来ます。ガラスは、日本製のトリプルガラスで、アルゴンガス入りのLowEタイプが標準です。換気ポジションでのロックが出来ますので、春秋のさらっとした季節には、安全にたくさんの空気を室内に取り込むことが可能になりました。



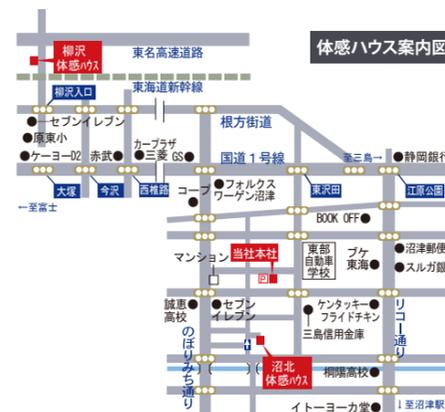
畑だより

春先に植えた安納芋が順調に育っています。無農薬で栽培しているのですが、葉には沢山のてんとう虫がついていますが、土の中のお芋は元気の様です。昨年、好評だった芋ほり大会を今年も行いますので、皆さまのエントリーをお待ちしています。



住まいの豆知識

間違った住まい方 No1 は、「窓を開けて浴室を乾かす」事です。一見正しいようですが、実は窓を開けると浴室の湿気が室内に逆流します。高断熱住宅では換気扇を正しくお使いください。



3つの体感ハウスは、いつでも体感可能です(詳しくはホームページで)

- 外断熱+自然素材とセントラル空調の快適さ
- 外断熱+EHCシステムで超省エネの快適さ
- スキップフロアー+薪ストーブ+吹抜けの快適さ
- 柳沢体感ハウス(輸入住宅仕様)
- 沼北体感ハウス(国産仕様)
- 修善寺体感ハウス
- 住宅リフォーム資材館

Green & Sustainable
中西工務店
<http://www.nakanishicc.co.jp>

〒410-0058 沼津市沼北町 1-9-19
TEL 055-921-8877 FAX 055-924-1987
office@nakanishicc.co.jp